

パンデミックの  
今とこれから

— 私たちは次の感染症にどう備えるか —

2024年 2/3 土 14:00～16:30 開場 13:00

会場 東京よみうり大手町ホール大ホール オンライン

登壇者



末松 誠  
慶應義塾大学 名誉教授/  
日本医療研究開発機構  
初代理事長



澤田 瞳子  
小説家

撮影  
松山 勇樹



大竹 文雄  
大阪大学  
感染症総合教育研究拠点  
副拠点長



三浦 麻子  
大阪大学大学院  
人間科学研究科  
教授



忽那 賢志  
大阪大学大学院  
医学系研究科  
教授

申し込み方法

下記URL、二次元コード、Emailのいずれかで参加登録をお願いします。

<https://forms.gle/k96txuo1bzNH1LjCA>

URLまたは二次元コードでのお申込みができない場合は、  
下記の3点をinfo@cider.osaka-u.ac.jp までお知らせください。  
1.参加方法〈会場 or オンライン〉 2.氏名 3.Emailアドレス

申し込み期限 2024年1月31日 (水)



参加無料  
定員500名

# PROGRAM

開会挨拶 西尾 章治郎 (大阪大学総長)

来賓挨拶 荒木 裕人 (厚生労働省 健康・生活衛生局 感染症対策部 感染症対策課長)

来賓挨拶 高島 義裕 (Osaka University Global Alumni Fellow)

拠点紹介 松浦 善治 (大阪大学感染症総合教育研究拠点 拠点長)

## 第1部 講演 | 14:15~

「データシェアリングによる医療課題の解決：  
新型コロナからの教訓」

末松 誠

(慶應義塾大学 名誉教授 / 日本医療研究開発機構 初代理事長)

「パンデミックと社会心理学」

三浦 麻子

(大阪大学大学院人間科学研究科 教授)

## 第2部 パネルディスカッション | 15:15~

1 「私たちは次のパンデミックにどう備えるか？」

2 「医療崩壊はもうおきない!？」

ファシリテーター

大竹 文雄 (大阪大学感染症総合教育研究拠点 副拠点長)

パネラー

押谷 仁 (東北大学大学院医学系研究科 教授)

武見 綾子 (東京大学先端科学技術研究センター 准教授)

内田 勝彦 (全国保健所長会 会長)

澤田 瞳子 (小説家)

忽那 賢志 (大阪大学大学院医学系研究科 教授)

閉会挨拶 金田 安史 (大阪大学統括理事)

主催 | 大阪大学, 大阪大学感染症総合教育研究拠点 (CiDER)

共催 | JSPS学術知共創プログラム「コロナ危機から見る政策  
形成過程における専門家のあり方」,

大阪大学先端モダリティ・DDS研究センター (CAMaD),

JSTムーンショット型研究開発事業「ウイルス-人体相互  
作用ネットワークの理解と制御」

後援 | 読売新聞社



すべての革新は  
患者さんのために



ロシュグループ